

タウンミーティング あったかいまち「ふじみ野」を目指して

日 時 平成27年5月31日（日）午後2時～3時30分
会 場 霞ヶ丘集会所（霞ヶ丘自治会）
天 気 晴れ
参加者 26人



主な意見等

参加者 防災についてですが、霞ヶ丘は高層住宅が多いため有事の際のエレベーター、水やトイレが心配になります。また、停電があった場合、長時間だと高齢者は尚更大変だと思います。

そして、避難所に関しては複数の地区の人が西小学校に行くと思いますが、多人数が集まることもあり、霞ヶ丘の人を受け入れてもらえるかどうか気がかりです。東北大震災のときはマンション暮らしの人は帰されたとも聞いています。そのあたりがどこまでフォローされるかが非常に不安なので教えていただきたいと思います。

市 長 行政も含めて地域でどういった判断ができるかというのが今後も課題になると思います。

避難所に関しては地区に拘らずさまざまな公共施設を使い、足が悪い人や高齢者を優先に数の配分を考えていきたいと思っています。

また、避難所となればさまざまな人が体育館に集まりますが、赤ちゃんの泣き声やおむつ交換のにおい、女性の着替えなどを考慮したスペースを設ける必要も出てくると思います。こうした多様なケースを想定し、被害状況に応じた柔軟な対応を職員と一緒に考えて

いきます。

そして、前回のタウンミーティングでも話題に上がりましたが、霞ヶ丘のマンションはエレベーターの工期により(閉じ込められないように)中途半端な高さで停止しないものと、停止してしまうものがありました。これの改善についてはURに後日確認いたします。

参加者 団地内にはさまざまな防災拠点があります。URは、この霞ヶ丘集会所を防災拠点として使えると口頭では言いますが、これを(文書などで)明記してほしいと思います。

また、西中央公園が第二拠点として使えるのかもはっきりとしていません。そのあたりを明確にいただければこちらもより具体的な災害対策をとれると思います。

市長 今後URと話して具体的な取り決めができればと考えています。

また、霞ヶ丘団地の中には市で借り上げている部屋もありますが、こうした駅に近い好立地の住宅を、税金を投入してまで市営にするのが果たして良いことなのかという議論もあります。そしてこの数を減らすのであれば、もちろん今いる人に動いていただくのではなく、空いた部屋を対象に段階的に契約を減らしていきたいと考えていました。しかし、これについては一度URに拒否されてしまいました。そこで国土交通省に直接掛け合いましたら、その後URの対応も軟化しました。URには一括して借りるか借りないかという極端な話ではなく、もう少し柔軟な対応を期待したいと思います。

参加者 私は民生委員をやっており、居住カードの調査を行っています。その活動の中で空き室の多さを強く実感しました。調べましたところ、177室のうち47室が空き室です。これは約四人に一人という高い数字です。この中には市で借り上げている部屋もあります。これについてはURにも言っていますが全くのノータッチで、市営以外の住宅に関しても孤独死対策等の管理が全く行き届いていません。

また、民生委員では一人住まいの高齢者にはお声掛けしていますが、高齢のご夫婦だとなかなか手がつけられていません。社会福祉協議会にこちらの対応も要請しましたが資金や人手が足りないと言

われました。居住カードにおける民生委員へのアンケート欄でもご夫婦のお二人住まいから有事の際は助けが欲しいという声が届いています。

また、認知症の人の徘徊なども地域で守らないといけないことであると考えています。こういった住民の切実な声を知っていただきたいと思います。

市長

貴重なデータをありがとうございます。空き室、空き家については霞ヶ丘に限ったことではなく、全市的な問題として以前から把握しておりました。国はもちろん、ふじみ野市でも高齢化は進んでおり、65歳以上が23%となっています。こういった高齢の方たちが自ら相談に来るのは難しいですが、かといって市から全ての家庭を訪ねていくのもまた難しい状況であります。

老々介護等の問題もこうした報告を受け止め、今後でもできる限り対応していきたいと考えています。

また、こうした問題の一環として市では今年から、福祉総合支援チームが新設されまして、さまざまな問題にワンストップ対応できるようになりました。

そして、有事の際の要援護者もこれまでは、自ら名乗り出る手上げ方式でやってきましたが、市でも能動的に管理をしていこうという取り組みが進んでいます。

民生委員については、高齢者が増えてきたため委員一人の受け持ちが多くなってきています。また、現在やっている人が見守られる側になる日も遠くありません。こうした厳しい実態を知り、尚更やってくれる人が減ってしまう恐れもあります。民生委員は国の制度によるものですのでそちらでしっかりとした対応をしてもらいたいと思っています。

参加者

こうした民生委員の取り組みの中で、土日に直接会えた人もいますが、30%近くは会えていません。不在の家にはポストに紙を入れていますが、3日間ポストに入りっぱなしの家もありました。そこでURに問合せ、その部屋は空き室なのか、人が住んでいるのかというのを一つずつ調べていっています。

こうした空き室や、夜にだけ帰ってくる住民の多さは防犯的にも問題があるのではないのでしょうか。また、若い世代に関して言えば

霞ヶ丘のURから通っている児童は22人しかいません。市から補助してでも若い人や働き盛りの世代に来てもらうような対策をとってほしいと考えています。

市長 そうしたご提言も一つの考えではあるのですが、市民全体の税金を市営住宅に向けるよりも、まずはURが何らかの対策を取るべきであると考えています。URも若干経済状況が上向いているようですし、企業に借り上げてもらうなりして空き室を減らすよう言っていこうと思います。

参加者 URの住宅は入居当初は安く入れますが、10年経つと家賃が上がることや、高齢の親が亡くなり補助が減るといった理由で住み慣れた家を動かざるを得ないというケースもあります。こうした実情をURに伝えていただきたいと思います。

市長 こうした現状を含めてURとの話し合いの場では住民の皆さんの声を伝えてこようと思います。
 有事の対応はもちろん、平時のことにもしっかり目を向けていかなくってはならないと考えています。

参加者 空き家条例が施行されましたが市としてはどのような対策、政策を考えていますでしょうか。

市長 市内でこうした空き家の問題は多く、これまでも特定空き家として管理の行き届いていないところを中心に対応してきました。加えて今回の特措法施行で、行政指導の強化を図ることができるだろうと考えています。

参加者 空き家の所有者が遠方にいる場合、なかなか手が付けられない現状もあるかと思います。

市長 まず、特定空き家の定義をどうするかという課題があります。景観や治安、近隣への影響を考慮したものにする必要がありますが、

具体的な定義を決めることは難しくもあります。

おっしゃられた通り、遠隔地にいるため管理ができない人にはなかなか強く出られないという点も今後解決していくべき課題だと考えています。

参加者 そうした家の隣も多くは似たような築年数であるため、将来的に考えると同様の問題は避けられないのではないのでしょうか。なんとか方策を考えていただきたいと思います。

市 長 戸建ての管理が行き届いていない場合、資産として生かす方向性もあります。

これはプロに委託することも視野に入れ、所有者と折衝していこうと考えています。特措法だけでなく市の条例として実態にあった対応をしていければと考えています。

参加者 以前に主人が倒れてURに障がい者のことで相談しました。最初は家賃を低くしてもらえていましたが、今では家賃が戻ってしまいました。しかし、主人は未だに働けない状態なので非常に困っています。障がい者への賃料軽減についてURに話していただけませんか。

市 長 URとしてはやっていますが、市営住宅の中には特定目的として障がい者や母子家庭向けのものがあります。

また、URに対しても先ほどの空き家の有効活用という話と絡めて相談してみたいと思います。

参加者 駅前のココネ広場の清掃はどこがやっているのでしょうか。夏ではあそこで宴会が開かれベンチの下にゴミがたまるケースが多く見受けられます。これは個人で拾うにも限界があります。

市 長 シルバーに委託して定期的に清掃していますが毎日というわけにはいっていません。駐輪場管理の人にも頼むなどしてより頻繁に清掃活動を行っていかねばならないと思います。

あのような広場は憩いの場として活用してもらいたいのですが、残念ながらモラルに欠ける人がいるのも事実です。これは行政としても啓発していかなければならないものと考えています。

参加者 役所の職員が自主的にコンサートを開くなど、ココネ広場を有効活用してくれてうれしく感じています。やってくれた人にはこうした声を届けていただきたいと思います。

市長 そのように伝えます。ありがとうございます。

参加者 犬猫の管理をしっかりといただきたいです。野良への餌やり禁止条例を作っている自治体もあります。また、飼い犬もふんは比較的ちゃんと処理されていますが、小便は無視されてしまいがちなようで、これが結構においがします。市として条例を作るなどしてはどうでしょうか。

市長 これも根底にあるのはモラルの問題であると考えています。もちろん、命は重要ですが無責任に増やしてもいけません。猫の去勢費用補助等の提言が議会でもありますので、今後議論を重ねて取り組んでいきたいと思っています。